

富津市図書館協議会 会議録

1	会議の名称	令和5年度第2回富津市図書館協議会
2	開催日時	令和5年7月13日(木) 午後2時～午後3時30分
3	開催場所	富津市役所5階 502会議室
4	審議等事項	(1) 第1回会議で寄せられたご意見について (2) 令和5年度自主事業の進捗について
5	出席者名	○出席委員 保坂典江、平 順子、杉田玲子、川口泰明、 長谷川令子、永野弘子、米村志朗、吉田侑季、 伊藤隆男、富井 碧 ○事務局 平野教育部長、樋口生涯学習課長、 吉村社会教育係長、網代主査、前田社会教育主事、 伊藤社会教育主事 ○(株)図書館流通センター(指定管理者) 小川図書館長
6	公開又は非公開の別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 ・ <input type="checkbox"/> 一部非公開 ・ <input type="checkbox"/> 非公開
7	非公開の理由	
8	傍聴人数	4人(定員10人)
9	所管課	教育部生涯学習課社会教育係 電話 0439-80-1345
10	会議録(発言の内容)	別紙のとおり

「令和5年度第2回富津市図書館協議会」会議録

発言者	発言内容
事務局 (樋口課長)	<p>皆様、こんにちは。定刻前ではございますが、皆さんお揃いですので始めさせていただきます。</p> <p>委員の皆様方におかれましてはご多用の中お集まりいただき、誠にありがとうございます。</p> <p>本日の進行を務めさせていただきます、生涯学習課長の樋口でございます。よろしく願いいたします。</p> <p>開会に先立ちまして、担当より配付資料の確認をさせていただきます。</p>
事務局 (吉村係長)	<p>○会議資料</p> <p>机上配付：次第、席次表、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料1 第1回会議で寄せられたご質問について、 ・資料2 富津市図書館資料収集方針、 ・資料3 「千葉県図書館関係市民団体連絡会」参加団体、 ・資料4 令和5年度自主事業、 ・チラシ 上條早苗先生講演会、 <p>以上です。ご不備ございましたら事務局へお願いいたします。</p>
事務局 (樋口課長)	<p>(次第1 開会)</p> <p>それではただいまから令和5年度第2回富津市図書館協議会を開催いたします。</p> <p>はじめに、本日の委員の出席状況を報告させていただきます。10名の委員皆様ご出席をいただいております。従いまして、富津市図書館条例施行規則第20条第5項の規定により、半数以上のご出席をいただいておりますので、会議が成立しておりますことをご報告申し上げます。</p>

続きまして、会議の公開につきまして富津市情報公開条例第23条1項の規定により公開となります。本日4名の傍聴者がおりますことをご報告申し上げます。

また、会議録作成のため録音させていただきますのでご了承願います。

(次第2 会長あいさつ)

それでは、はじめに川口会長からご挨拶をお願いいたします。

川口会長

改めまして皆さんこんにちは。だいぶ涼しくなってきましたけれども、暑い日が続くときは、ゆっくりと図書館で読書を楽しむという時間をとりたいなと思うところがございますが、先ほど図書館の来館者数を事務局に聞いたところ、7月に入りまして6万人を超えたということだそうです。これも、多くの市民の方が市立図書館の開館を切望していたということの表れかなと思ったところがございます。

今回、図書館協議会も2回目でございますけれども、前回の1回目では、委員の皆様から貴重なご意見をいただきまして、皆様の図書館への思いを感じたところがございます。

私も、この新しい図書館の基本コンセプトでもあります「気軽に立ち寄れる、出会い、学び、憩いの場としての図書館」を軸に、広い意味での図書館事業の充実が図れるように皆さんと議論を進めていきたいなと考えたところがございます。

そのような中で、本日の議題でございますけれども、第1回会議で寄せられたご意見について報告と、令和5年度自主事業の進捗についての二議題でございます。

本日も皆さんと意見交換をさせていただくことをお願い申し上げます。私の挨拶とさせていただきます。よろしく願いいたします。

<p>事務局 (樋口課長)</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、ここからは富津市図書館条例施行規則第 20 条第 4 項の規定によりまして、会長に議長となっただき、進行をお願いしたいと存じます。</p> <p>川口会長よろしくお願ひいたします。</p>
<p>川口会長</p>	<p>それでは、ここから私が議事進行を務めさせていただきます。よろしくお願ひいたします。また円滑な議事運営となりますよう、皆様のご協力をお願い申し上げます。</p> <p>なお議題に入る前に会議録署名人を指名させていただきます。</p> <p>杉田委員と長谷川委員をお願いしたいと思ひますのでよろしくお願ひいたします。</p> <p>(次第 3 議題)</p> <p>それでは次第 3 の議題に入ります。</p> <p>議題 (1) 第 1 回会議で寄せられたご意見について、報告を事務局より説明を求めます。</p>
<p>事務局 (吉村係長)</p>	<p>議題 (1) 「第 1 回会議で寄せられたご意見について」説明いたします。資料 1 をご覧ください。</p> <p>前回、4 月の第 1 回会議において、委員の皆様から寄せられたご質問等について回答をお示しさせていただきました。</p> <p>内容について補足しながらご説明させていただきます。</p> <p>初めに「質問 1 図書館の選書の過程について」ですが、資料 2 を合わせてご覧ください。</p> <p>こちらは「富津市図書館資料収集方針」ということで、図書館選書の基本的な方針となるもので、市立図書館の設置にあたりまして、令和 4 年度に策定したものでございます。</p>

第2項、第3項で基本的、また具体的方針を示した上で、第4項で一般図書、参考図書、児童図書といった資料別の選定基準を示してございます。

図書の選書については、まずこの基準が基本となりまして、ただ、この基準の内容だけでは非常に広い範囲となりますので、そこから出版社から提供されるブックリスト、書評、また実際に現物を見て選ぶ見計らいとありますが、それから、利用者からの予約リクエスト、レファレンスなどの様々な情報を総合的に勘案して、図書館および市の司書が選書を行っているというところでございます。

次に「質問2 図書館を応援する市民の受け入れについて」でございます。資料3を合わせてご覧ください。

前回会議で図書館の運営をサポートするような団体作りということでご意見が挙がりまして、そうした団体の一例として「友の会」という名称が出ましたが、この「友の会」について県内他市の状況を調べて簡単にまとめたものでございます。

基本的に「友の会」や「応援する会」といった団体については、住民や利用者の方々の有志によって設立され、図書館のPRであったり、運営補助などの活動を自主的に行っているといった例が多くなっております。

前回会議では、あくまで一例として挙げたもので、団体を立ち上げるにあたっては、誰でも個人でも気軽に参加できるような団体がいいのでは、ということで図書館からの発信でできないか、というような趣旨でございましたので、少し異なると思います。

市といたしましては、図書館が開館してから間もないということもありまして、運営等についてまだまだ模索している部分もございますので、まずは前回会議において令和5年度事業として掲げた取り組みを、この後の議題でも詳しくご説明いたしますが、まずこの取り組みを1年間、着実に行之まして市民の

皆様の図書館への興味関心を高めて利用促進に繋げていきたいと考えております。

最後に「質問3 市立図書館と市内施設等との連携について」でございます。

前回会議でも少し触れさせていただきましたが、指定管理者の自主事業として軽自動車型の図書館車 LiBOON（リブーン）が6月14日から運行を開始いたしました。

「広報ふつつ」ですとか市のホームページでも周知させていただいておりますので、ご存知の委員の方もいらっしゃるかと思いますが、この LiBOON（リブーン）は図書の貸し出し返却に伴う各図書施設間の定期配送に加えまして、団体貸し出しに伴う図書の配送サービスも行っております。このサービスにより小・中学校や保育所、それから「カナリエ」などの子育て支援センターといった団体が団体貸出サービスにより借りた本を図書館に取りに行くことなく、施設で受け取れるようになったため、より利用しやすくなりました。

団体貸出サービスでは原則2か月間100冊まで借りることがありますので、ぜひ施設に本を借りてもらって、その施設を利用する方々に図書と触れ合う機会を作っていただければと考えております。

現在、このようなサービスの利用促進を図るために市内施設への周知を行っているところです。

さらに今後は、個人貸し出しに伴う配送についても検討しております。現在貸し出し拠点となる集会所等の調査を行っています。

年内にはコースの設定、年明けに試行を行いまして、来年度からのサービス開始ということを計画しております。これにより「移動図書館車さくら号」のステーションや、市内の各図書施設から離れた地域にお住まいの方でも、お近くの集会所等で予約リクエストした図書の受け取り返却ができるようになり

	<p>ます。また、これらのサービスについては図書館のイベント等も含めて、随時市のホームページやSNS等を活用して積極的に周知し、図書館の更なる利用促進に努めていきたいと考えております。</p> <p>以上前回寄せられたご質問等に対するご報告となります。</p>
川口会長	<p>事務局からの説明は終わりました。</p> <p>委員の皆さんからご質問ございますか。</p>
富井委員	<p>質問1に関してですが、司書が選書を行っているということですが富津市の司書でしょうか、それとも図書館の司書なのか、または一緒に会議をしているのか教えてください。</p>
事務局 (小川館長)	<p>図書館の司書と富津市の司書で選書し、その後に会議でのすり合わせをしております。</p>
富井委員	<p>定期的と一緒に。</p>
事務局 (小川館長)	<p>定期的に行っています。</p>
富井委員	<p>もう1点、質問3のLiBOON(リブーン)について質問ですが、各施設間の定期配送は今までもやっていたと思いますが、団体貸出は今までどのような形でやっていたのか教えてください。LiBOON(リブーン)があることでどのように変わったか教えてもらえますか。</p>
事務局 (網代主査)	<p>今までは、例えば学校から団体貸出の申し入れがありますと、生涯学習課で各図書施設から集めまして、移動図書館が巡回している学校であれば移動図書館で配送しますが、移動図書</p>

	<p>館車は巡回日が決まっていますので、それだと間に合わないという場合は生涯学習課または公民館まで受取りにきてもらっていました。</p>
富井委員	<p>定期配送は今までもやっていたと思いますが、この2行目にある施設間の定期配送は今までと何が変わったのか教えてください。</p>
事務局 (網代主査)	<p>以前は定期配送については市の遞送便というものを利用して行っていました。遞送便ですと、配送できる量が限られておりますので、遞送便で配送できない量の申し入れがあった場合は市の司書が各公民館に配送に行っていました。</p>
富井委員	<p>もう一点、質問3の回答でイベントとかのお知らせをホームページやSNSを活用して積極的に周知して参りたいと考えていますとありますが、ホームページとかSNSを活用している人達って限られているのかなって印象がありまして、なかなか情報が行き渡っていないなと私は肌で感じているので、まだまだ紙媒体の「回覧板」や「広報ふつつ」というものの方が富津市では広まりやすいのかなって思います。SNSとかを利用してない人たちを置いてきぼりにならないように意識してもらえたらなと思います。以上です。</p>
川口会長	<p>SNSだけじゃなくて紙媒体でというご質問ですが、事務局いかがでしょうか。</p>
事務局 (吉村係長)	<p>富井委員からのご意見を参考に、電子媒体に限らず「広報ふつつ」や「回覧板」等の紙媒体も並行しながら周知に努めてまいりたいと思います。</p>

川口会長	他に委員の皆様からご質疑ございますか。
米村委員	<p>今の回答ですけど、紙媒体というお話がありましたが図書館を利用する方々が情報をどのように収集しているかは、分析とどうか何かで把握していますか。</p> <p>それを把握した上で、ホームページやSNSを主たる媒体と決められたのですか。その分析等決定はどうなっていますか。</p>
事務局 (小川館長)	<p>分析はただいま行っておりました、イベント開催時等にアンケートを取っています。アンケート内にイベントをどこで知ったかという質問がありまして、例えば図書館の中に掲示してあるチラシ、イオンモールの中に掲示してあるチラシ、SNS等という項目を設けて、そこで情報収集、分析をしています。</p>
米村委員	<p>今おっしゃったアンケートの確認というのは、すごいストレートでいいことだとか、分析に極めて正確な数値が出る可能性がありますね。それをお聞きしたかったです。ありがとうございます。</p>
川口会長	<p>他に質疑等ございますか。</p> <p>それでは他に質疑等ないので議題（１）については終了といたします。</p> <p>次に議題（２）「令和５年度自主事業の進捗について」事務局からお願いいたします。</p>
事務局 (小川館長)	<p>令和５年度図書館自主事業の進捗について説明いたします。</p> <p>資料４をご覧ください。</p> <p>まず、継続事業といたしまして、通し番号１、２、３、４番になります。</p> <p>おはなし会関連の行事ですが、４月から毎月第２第４火曜日</p>

に開催しております、4月から5月までの来館者数の状況を見て、7月から「2歳からのおはなし会」、「4歳からのおはなし会」の2部構成とし、毎月第1第3土曜日と日曜日への開催に変更いたしました。しばらくは基盤作りのため、当館のスタッフで対応しておりますが、今後はボランティア研修初級編を開催して、受講者ボランティアの方にもおはなし会への参加をお願いする予定になります。

また7月より乳幼児連れの保護者が気兼ねなく図書館を利用できるための時間として、「あかちゃんタイム」も毎週月曜日10時から12時に導入いたしました。「あかちゃんタイム」として、毎月第1・第3月曜日は、乳幼児向けおはなし会である「はじめてのおはなし会」、第2月曜日は自宅にある材料を使って遊べるおもちゃ作りとして「初めての工作教室」を開催しております。

先日、「初めての工作教室」第1回目を開催しまして、3組のご参加がありました。

5番の「あらゆる人が図書館を利用するために」ですが、館内の動線の確保、筆談ボードの設置、コミュニケーションボードの設置を行っております。また、現在、読書補助具として「レティッサ オン ハンド」という機器の貸し出しの準備を進めております。

6番「職場体験の受け入れ」は、小中高等学校の職場体験の受け入れを随時行っております。

7番「社会科見学の受け入れ」として、随時、各団体からの見学のお申し込みを受付けております。7月現在までで6校の見学会を実施いたしました。

8番「放課後デイサービス ウィズユー 図書館のお仕事体験」として、イオンモール富津1階にある「放課後デイサービス ウィズユー」の生徒さんを招き、毎週木曜日に開催しております。配架や書架整理、イベントの準備のお手伝いなど、図

書館の仕事を生徒に体験してもらうことによって、生活や社会スキルを学ぶための支援事業として行っております。

9番の「パスファインダー」こちらはテーマごとに参考となる図書、情報をまとめたリーフレットになります。現在、イオンモール富津内テナントにご協力をお願いしており、商業施設内ならではのパスファインダーの作成を進めております。

10番、「富津からひらく」は、特集コーナーとして常設展示しております。図書館に来館した方におすすめ本を用紙に記入していただき、そちらを随時展示しております。

11番、広報紙「図書館だより」の発行。こちらは図書館だよりを奇数月に発行しております。現在、5月、7月に発行しまして図書館ホームページでも閲覧できるようになっております。

12番「SNSの活用」として、現在、富津市立図書館の名前で図書館ホームページ、ツイッター、インスタグラムを開設し、イベントの告知などを行っております。

13番「LiB00Nの運行業務」。LiB00Nの運行業務として、現在、公民館図書室と団体貸し出しを行っている小学校を中心に巡回しております。「さくら号」で巡回できていない箇所をLiB00Nで巡回できるようステーションの交渉を行っております。また地域イベントへの出張も随時行っております。

続きまして2ページ、こちらは開催済みの事業となります。

まず、1番の「つくろ、まなぼ、あそぼ ほんのこうかんかい」としてイオンモール富津ご協力のもとイベントを開催いたしました。ご自宅で不用になった本と、おすすめポイントを書いた「一言カード」を一緒にお預かりし、お渡し期間にてお渡しする「本と思いを繋げる」イベントとして開催いたしました。当日は、お預かりが41名、412冊、お渡しが89名、316冊となりました。

2番と3番、LiB00Nの納車を記念し、イオンモール富津1階

アゼリアコートにて「LiBOON 納車記念撮影会」を開催いたしました。普段乗ることのできない運転席に乗って写真を撮っていただくイベントになります。1日目は263名、2日目は435名の方にご参加いただきました。合わせてLiBOON 納車を記念した乗り物が登場する物語を中心とした「のりものいっぱいおはなし会」を同時に開催しました。1日目が26名、2日目が44名の方にご参加いただきました。

4番、「ぐりとぐらクイズラリー」、こちらは、「ぐりとぐら」60周年を記念して、福音館書店より図書館向けに配布された「ぐりとぐらクイズラリー」を使用して開催いたしました。当日は「ぐりとぐら」の絵本を一緒に展示し、参加者には「ぐりとぐら」のぬり絵を参加賞としてプレゼントいたしました。1日目は17名、2日目は33名の参加がありました。

5番、パネル展示「キャンピングカーのたび」は、絵本として出版されている「キャンピングカーのたび」を50cm×50cmほどのパネルに印刷したものを館内に展示しました。こちらは「LiBOON 納車記念撮影会」の際は、LiBOONの本体にある本棚を利用して、そちらでも展示を行いました。

6番「七夕飾り」は、7月1日から7月7日まで、図書館内に笹を立て、子どもたちに短冊に願い事を書いていただきました。こちらの飾り付けの作成は、図書館のお仕事体験として「放課後デイサービス ウィズユー」の生徒さんたちにお問い合わせいたしました。短冊は全部で107枚集まりました。

次に、今後の事業計画としまして、1番「なつやすみスタンプラリー」でございます。こちらは夏休みの読書推進活動として、7月1日から8月31日まで、夏休みのスタンプラリーを開催しています。こちらは本を借りた冊数だけスタンプがたまり、25個貯まると、イオンモール富津2階のカプコンにご協力いただき、クレーンゲーム1回無料と、メダル10枚がもらえるようになっております。7日時点で1名の子が25個貯

め、景品を獲得しています。

それから事業計画の資料に記載が漏れてしまいましたが、現在、正方形の箱に図書館長として自分のおすすめ本を図書館内から選んで配架し装飾して展示するという、「ひとハコ図書館」という事業を開催しております。こちらは図書館長として運営していただくイベントになります。こちらは現在14もの図書館及び館長が運営を行っていただいております。

2番「えほんをよんでみた」は、普段、中々読み聞かせをする機会のない方に読み聞かせを体験してもらい、「えほんをよんでみた」を通して自宅でも読み聞かせを行い、家族の時間を作ることを目的としたイベントとして開催予定になります。

3番、「おはなし会スペシャル 影絵のおはなし会」。こちらは「おはなし会スペシャル」として影絵のお話会を開催予定です。普段と違ったおはなし会ということで、演者には富津市内にて活動している「影絵劇団きらきら草子」さんをお願いしております。

4番、5番、こちらは工作教室になります。夏休みの自由研究のお手伝いとして、二つ企画しております。

一つ目が、「図書館と本箱を作る。」になります。様々な種類の木を使用して本箱を作成しペイントをするイベントとなります。二つ目は、「房州うちわづくり」になります。千葉県の伝統工芸としても知られる房州うちわの歴史を学びつつ、自分で作る体験型の学習になります。講師には房州うちわ職人の「房州うちわ太田屋」さんをお願いしています。

6番、「上條さなえ先生講演会」、お手元にあるカラーの用紙のポスターのイベントになります。「10歳の放浪記」や2020年、青少年読書感想文全国コンクールで小学校高学年の部に選ばれた「月と珊瑚」の著者である上條さなえ先生に講演をしていただく予定です。上條先生は幼少期、富津市に住んでいたこともあり、図書館開館を記念して講演を引き受けてくださいま

した。当日は子どもたちに向けて「読書感想文の書き方講座」を併せてしていただく予定です。

7番、「おはなし会スペシャル なつのこわ〜いおはなし会」は富津市のふるさと祭りがイオンモールの屋上で開催されるのに合わせ、図書館として、この「こわ〜いおはなし会」を開催予定になります。

8番、9番、夏休みの職場体験学習として、図書館の司書体験と、図書館のツアーを開催予定です。配架や書架整理、レファレンスサービスなどの図書館の仕事を体験する「図書館司書体験」と、図書館内を案内する「図書館ツアー」を開催予定です。

ただいまご説明した事業は、小学校・中学校にはチラシを配布して告知を行っております。

次に3ページになります。こちらは、まだ日程など詳細が決まってないイベントになります。

1番、「富津市史デジタル化業務」。こちらは「TRC-ADEAC（アデアック）」という事業者と協力のもと行う予定です。現在、富津市生涯学習課も含めて詳細を協議中になります。

2番、高齢者向けイベントとしまして、イオンモール富津3階にあるATTIVO（アッティボ）の協力のもと自宅でできるストレッチ講座の開催を検討しています。

3番、「郷土史を学ぶ」といたしまして、千葉県最北端図書館である「野田市立せきやど図書館」と、千葉県最西端である「富津市立図書館」で何かイベントができればと現在調整しているところです。野田市はキッコーマンや関宿城があり、富津市には鋸山という歴史的遺産や文化があり、オンラインでお互いの市を繋ぎ郷土を学ぶ講座をできればと考えております。ネット環境など様々な問題があるため、一つ一つの問題を整理して実現に向けて動いている段階となります。

4番、5番、「おはなしボランティア養成講座」になります。

図書館のおはなしボランティアとして活動するための養成講座として、「おはなしボランティア養成講座【初級編】」を11月から12月に開催予定となります。こちらの養成講座に参加した方を対象に富津市立図書館ボランティアとして個人登録をしていただき、おはなし会のボランティアとして参加していただく予定になります。また現在、富津市内でボランティアとして活動している方を対象に「お話ボランティア養成講座【中級編】」を同じく11月に開催予定となります。

こちらは現在講師の先生と日程を調整中になります。

続きまして、支援事業になります。

1番と2番、支援事業としまして「団体貸出」を行っております。小中学校を対象に希望のあった学校、各学年ごとに5冊ずつ司書が選んだ本を学級文庫として貸し出ししております。

夏休みである7月以外の毎月1回、市内4校をLiB00Nにて巡回し配本をしております。

今後は幼稚園や保育園など、他施設へも学級文庫の貸し出しを検討しております。また、併せて並行読書などに使用する団体貸し出しも行っております。

続きまして3番と4番。富津市連携事業になります。

富津市連携事業として、富津市内のお店とタイアップした展示を行っております。4月から5月はイオンモール富津3階にあるクラフトーカイにお願いをしました。6月から7月はイオンモール富津2階にあるある「NPO法人オール富津情報交流センター AFICC（アフィック）」にお願いをしており、富津市内の観光スポットのチラシを設置し、富津市をもっと知っていただく機会を提供、併せて関連本を展示しております。また、令和5年度の動物の正しい飼い方推進月間に合わせ、「NPO法人富津ねこネット」にご協力いただき、正しい飼い方についての展示と関連本も展示をしております。

5番、富津市連携事業「としよかんでおトク」になります。

	<p>こちらはイオンモール富津内の各テナントを対象に毎月、参加テナントを募集。図書貸出券の提示で割引やポイント2倍などのサービスを受けられるものになります。</p> <p>6番「読書活動の推進」といたしまして、一般向け、児童向けに毎月テーマを決めて関連本を集め、展示するコーナーを設置しました。また、正面モニュメントには時事展示として、リアルな情報をテーマに特集展示を設けております。</p> <p>説明は以上となります。</p>
川口会長	<p>丁寧な説明ありがとうございました。</p> <p>それでは委員の皆さんご質疑等ありますでしょうか。</p>
富井委員	<p>まず1ページの7番の社会科見学についてですが、図書館の方からどのようにして学校や保育園に案内を出しているのか教えてください。</p>
事務局 (小川館長)	<p>こちらは特に図書館側からは案内をしておらず学校側から見学をしたいという申し入れがありまして、そこで日程調整等を行って開催しております。</p>
事務局 (樋口課長)	<p>今の点に対する補足ですが、市の方から、校長会の会議等がありますので、そういう会議で、図書館ができました、生涯学習バスもありますので、見学などで是非利用してくださいというアナウンスをしているところです。</p>
富井委員	<p>自分も市内で子供を学校に通わせている身なので、先生とか校長先生によって図書館とか本の分野に興味がある人と、違う分野の先生がいるので是非校長会とかでプッシュして「見学とかをやっていますよ」というふうに言っていただけたらと思います。</p>

	<p>次に11番の図書館だよりの発行についてですけど、「図書館だよりの広報誌だけじゃなくて、自分たちが図書館にお願いして置いてもらっているリーフレットであったり、他の人から「図書館に置いてあるから見てね」って言われた紙媒体であったりをなかなか見つけられないという声が上がっていました。</p> <p>私も何度か見に行ったんですけど、書架に紛れてしまっている場所に置かれているのでなかなか見つけにくいと思うので、配布物とか掲示物を情報コーナーのようにしてまとめてもらって、先ほど出合いや学びの場っていう話が会長からもありましたけど、そういう市民活動交流を支援するようなコーナーをわかりやすく作ってもらえるといいのかなと思いました。</p>
川口会長	<p>今の意見について事務局いかがですか。</p>
事務局 (小川館長)	<p>大変貴重なご意見ですので、検討いたしまして設置場所を検討したいと思います。ありがとうございます。</p>
富井委員	<p>続いて3ページ目ですが、いろいろと講座や学びの場所を用意してもらっていると思うんですけど、これらの実施する場所についてですけど、店内放送とか商業施設特有の装飾などもあって、なかなか講座を静かに聞くっていうのは難しい環境なんじゃないかなと思うんですけど、例えば市役所の会議室であったり、公民館の会議室などを検討して、そちらに図書館側が出張して行うようなこととかがっていうのも可能なのでしょうか。</p>
川口会長	<p>事務局いかがでしょうか。</p>
事務局 (樋口課長)	<p>講座によってご意見はあろうかと思しますので、講座内容を確認しながら会議室の調整や、会場を市役所または公民館等で</p>

川口会長	可能かということは検討していきたいと思います。
事務局	状況によってその場所を選定するということですね
(樋口課長)	そうですね。確認していきたいと思います。
富井委員	次に支援関係の1番「学級文庫」についてですが、こちらも住んでいる地域によって差がないようにっていうのを望みます。全ての学校や保育園で学級文庫が開催できるようにプッシュしてほしいなと思うのと、例えば学校側から、こういう理由で学級文庫はやれないみたいな、何か判断とか意見があったのか、そこを聞かせてほしいなと思います。
事務局	学級文庫に関しましては、市内の小中学校全てを訪問し、こういうサービスを行うのでよかったらいかがですかという情報を提供しました。
(小川館長)	ただ、こちらに関しては、やはり学校で先生が管理をしなきゃいけないっていう問題が出てきてしまうので、管理が難しいという学校は今回申請をしていない可能性があります。佐貫・環・天羽・飯野小学校に関しましては訪問して、学校の先生から是非お願いしますと言われて行っています。
富井委員	先ほど校長会の話もありましたが、こうした取組みを1回だけじゃなくて引き続き継続していただいて、この学級文庫を広めてほしいなと思います。 それともう一つ、支援関係ですが、富津市には読書支援員さんがいると思いますが、支援員さんへの支援はどのようにされているのかを教えてください。

川口会長	事務局いかがですか。
事務局 (平野部長)	こちら学校教育課の所管で対応しているところなんですけれども、読書支援員さんを会計年度任用職員ということで任用しております。各校に順次定期的に回っていただいて、本の整理であったり、読み聞かせ等それぞれの学校事情に応じて対応させていただいているところでございます。
富井委員	図書館と読書支援員さんが直接何か関わったり、読書支援員さんに向けての講座とか研修ってというようなことはされていないのでしょうか。
事務局 (小川館長)	現時点ではまだ予定はありませんが支援員さんにご相談して要望等があれば実施は可能です。
事務局 (平野部長)	所管課が違いますので、私の方からその旨を学校教育課の方へ検討するような話をしておきますので、よろしく申し上げます。
川口会長	<p>他にご質疑等ございますか。</p> <p>それでは他に質疑がないようですので、本日の議題については終了といたします。</p> <p>次に次第の4「その他」といたしまして、委員の皆様から何かございますでしょうか。</p>
富井委員	すみません、児童書なんですけど、ネットで調べると開架にありますとなっていますが、実際に図書館に行ってみると、それは閉架にあるので言ってもらえれば出してきますっていうようなことがあったようで、例えば、幅広い世代から愛されている読み聞かせなどの人はよく使われている「おはなしのろうそ

く」っていうシリーズの小さい本があると思うんですけど、こちらも開架に置かれているってなっていますけど、実際行ってみると閉架になっていて実物を見ることができない状態です。理由としては、小さいので閉架にありますっていうことを職員さんに言われたらしいんですけど、形から興味を持つということもありますし、「おはなしのろうそく」って結構有名な本ですので、なぜ閉架にあるのかなっていうところと、閉架にあるのはきちんとネット上でも閉架と表示しておいた方がいいのではないのかなと思いました。

それと大型絵本も、個人貸し出しはされていないようで、団体の方には貸していただける形になっているんですけど、子供達は興味があると思うので是非こちらも個人貸し出しもお願いしたいのと、リストを見て選ぶことができる人もいると思うんですけど、やはり実物を見て選びたいっていう人もいます。それができるのが図書館だと思うので、是非、大型絵本も開架に出して個人貸し出しもお願いしたいと思います。以上です。

川口会長

事務局、今の意見についていかがでしょうか。

事務局

検討いたします。

(小川館長)

川口会長

他にその他ということで何かございますか。

伊藤委員

次回からで結構ですけど、この会議の会議時間、前回は初めてということで休憩も入れてかなり時間がかかったと思いますが、今回、午後2時からということしか分からなかったものですから、だいたい目安を教えてくださいました方が参加しやすいのかなと思います。1時間とか2時間なのか、それとも3時間なのか分からないですよ。

川口会長	今、伊藤委員が言われたように議題内容によっては時間が延びるとかあると思いますけど、やはり皆さん予定もあるということで、概ねどれくらいを予定しているかっていうのは示せませんか。事務局いかがでしょうか。
事務局 (樋口課長)	今年度はあと2回を予定させていただいておりますので、お示しできるようでしたら、例えば、概ね1時間程度とかメール等になるかもしれませんが、一応目安としてお示しさせていただければと思います。ただ当然ながらいろいろご意見いただく中で前後するのは考慮していただければと思います。
川口会長	それでは、今後は時間的なものを目安でお知らせするってことでよろしいですね。実際は内容によって時間の前後が出てしまうことはあると思いますが。
事務局 (樋口課長)	会議前にご連絡できる部分がありましたらお知らせをしたいと思います。
川口会長	伊藤委員、それでよろしいでしょうか。
伊藤委員	はい。お願いします。
川口会長	他に質疑等はいかがですか。
米村委員	今の件ですが、効率的にその会議を、例えば基準2時間ぐらいで効率が良かったら早く終わるだろうし、今回2回目ということで、前は初めてだからできなかったことでしょう。 今回は事前にメールで資料を送ってくれましたよね。あれはせめて1週間ぐらい前に送れないでしょうか。そうすると効率

	<p>運営じゃないですけど、かなり違うと思います。わざわざハードコピーにして用意するのは極めて少ないと思いますが、やはり2日ぐらいしっかりと読む、全然違いますよ。今の時代に何か改良しなくちゃいけない。1日前に資料配布なんてありませんよ。その辺ちょっと反省してもらって、もう少し早く配付する工夫をしてくれませんか。担当の方は大変でしょうけど、ご検討をお願いします。</p>
事務局 (樋口課長)	<p>おっしゃる通りですので、次回から早めにお示しできるように努めてまいります。</p>
富井委員	<p>今の意見と重なるところがあるんですけど、この会議が開催されますっていう情報が市のホームページに出たのが今回3日前だったと思います。何か市の基準などでは1週間前までには公表しなきゃいけないってなっていると思うんですけど、それが3日前になってしまった理由は何かあるのかなっていうことと、やっぱり市民をいかに巻き込んで、いかに活発で良い会議にしていくかっていうところだと思うので、やはりもう少し前に公表してもらわないと、傍聴される人も予定合わせられないと思いますので。1週間前までにホームページに載せるから1週間前でいいやじゃなくて、できれば1日でも2日でも早くしてほしいなと思います。あと、会議資料についても今回この資料をもらって、急いでいろんな人に意見を聞いてまとめて自分なりにやってきたんですけど、とても時間が足りなかったんで、市民と市の中に会議を挟むっていう理由がそこはあると思うので、もう少し早めをお願いしたいと思います。よろしくをお願いします。</p>
事務局 (樋口課長)	<p>これはもう反省すべき点ですので、次回はこのようなことが無いように、また基本的にホームページの公表をする意味では</p>

米村委員	<p>その1週間前にとおっしゃっていただきましたけど、2週間ぐらい前にお示しできればアップしまして、また資料は米村委員言われたように、前後するかもしれませんが、1週間前を目標に努めていきたいと思いますので、今後ともよろしくお願ひします。</p> <p>それから今日、傍聴されている方が4名来ていらっしゃるんですけど、この方々がもっと増えるような協議会になるとベストじゃないかと思うんですね。何年か先、その中から委員に立候補するような人を養成すると言ったらおかしいんですけど、興味を高めていく、広げていく、深めるという中身がですね、傍聴する方が、例えば、私がこの委員会で居眠りしていたら、いい意味の批判が出るような、そうするとパワーアップというか、協議会の中も良くなっていくんじゃないかなと思いますけど。それと関連するんですけど、資料3に「千葉県図書館関係市民団体連絡会」参加団体って、これ調べていただいて、大変面白いなと思っているんです。これに将来、今すぐじゃなくても、この富津市が入るような団体はあるっていったらおかしいんですけど、この辺はどうなんでしょうかね。まだそこまでできてないのかどうなのか。これ横の連絡で情報を得るのにはすごくいいと思うんですよね。ぜひ積極的に出てほしいなと思います。</p>
事務局 (樋口課長)	<p>今の点につきましては、最初、係長から説明申し上げました通り、県内でこのような対応事例お示しをさせていただきました。またこの事例は基本的に市民の方が、主体的に行っているような状況であることも説明させていただきました。また、図書館がオープンして、今まだ3か月、いろいろ試行錯誤しながら先ほどご説明したような事業を行いながら進めてまいりますので、まずは市側といたしましては、1年じっくりいろんな</p>

米村委員	<p>ことを実施しながら、今後こういったことにも繋がっていけばいいなというふうに思っております。</p>
杉田委員	<p>はい、ありがとうございました。</p> <p>今の質問2につきまして、前回、私の方でこういうお話を挙げさせていただきました。</p> <p>図書館の応援の形をどのようにしたらいいかという、ざっくりとそういう話なのですけれども、今日、館長さんに詳しく資料をご説明いただき、また説明いただいた上で実際に、例えば1年間ぐらいそのイベントとか、いろいろな事業を見せていただいたり、体験させていただいたりした上で皆さんと、その間も協議会があらうかと思っておりますので、その時点で、皆さんと一緒にこういう協議いかがですかというふうに出したいなと思っておりました。</p> <p>ですから、どこかの団体に入るとかいうより、私がこだわりたいのは、富津市独自のという言葉大切にしたいと思うんですね。</p> <p>富津市ではこういう形の応援を図書館に対してするよ、したいよ、で、市民の声もこんなふうになっているよっていうような、何か皆さんと一緒にこの協議の場でアイデアを出して、いろんな角度から話し合いができたらっていうように思いますので、もっと時間をかけて話し合いの場をいただければと思っております。</p>
川口会長	<p>杉田委員が言うのは、この自主事業かなり多くあるんですけれども、その進捗を見ながら富津市独自の、どれが一番富津市に適合するものかということを探りながら皆で協議していこうということによろしいですね。</p> <p>他に如何ですか。</p>

伊藤委員	<p>仕組みがよくわからないので、事務局にお伺いしたいんですけど、二つあります。</p> <p>一つは市立図書館入りまして、すぐ左側に設立のときに寄附された法人とか個人の方の名前が出ているんですけども、これは今後、寄附を一般の方から、富津市外からもいらっしゃるようなんですけれども、寄附の仕組みを今後も継続されるのかどうかということと、二つ目は公民館の図書室にあります雑誌の透明のカバーに広告を入れるという事業をやっていらっしゃると思うんですけども、同じような仕組みは図書館でも今後採用されるお考えがあるのか、二つお願いいたします。</p>
川口会長	<p>事務局、その2点についてお願いします。</p>
<p>事務局 (樋口課長)</p>	<p>お答えいたします。</p> <p>図書館入口横の寄附者の一覧ということで表示させていただいている部分につきましては、昨年度「企業版ふるさと納税」の制度によってご寄附いただきまして、公表しても構わないと申し出いただいた企業様を主に掲載しております。</p> <p>それと制度につきましては、単年度のものでございますので、今年度「企業版ふるさと納税」で図書館への寄附というものは設けてありません。</p> <p>2点目の図書のカバーの広告の部分につきましては、図書館についても、公民館図書室と同様にご要望いただければ掲載させていただきます。以上でございます。</p>
川口会長	<p>伊藤委員よろしいでしょうか。</p>
伊藤委員	<p>はい。ちなみにふるさと納税、個人の場合はどういう事業に使うかっていうことを寄附する人が選択できると思うんです</p>

<p>事務局 (樋口課長)</p>	<p>けど、企業版の方は特にはないですね。</p> <p>富津市としてメニューをいくつか出した中で、図書館の整備に関する寄附というところでいただいた企業様を掲載しております。子育て関連ですとか他のメニューもございましたが、図書館の整備でいただいた企業様を掲載しております。</p> <p>また、個人の方を1名掲載させていただいておるんですが、実際はクラウドファンディングなどを通じて個人の方からも多くの寄附をいただいております。1名だけ個人の方の名前を掲載させていただいたのは、金額的に市の基準を超えた場合ですと、善行表彰の対象となるということで、その対象となる寄附を図書館の整備という目的でいただきましたので掲載させていただいたということになります。以上になります。</p>
<p>伊藤委員</p>	<p>それに関連してお尋ねしたいんですが、この図書館事業の予算というのは、ざっくり言って十分なのかどうかという点と、もう一つは個人版のふるさと納税を富津市民以外の方が寄附する時に、プルダウンメニューで使用目的を選べるようになっていると思うんですけども、個人の方からの「ふるさと納税」をこの図書館事業の一部に使うという予定はありますでしょうか。</p>
<p>事務局 (樋口課長)</p>	<p>個人版のふるさと納税につきましては、所管が企画課であります。現在のところ図書館へのという具体的なメニューの検討はしておりません。</p>
<p>伊藤委員</p>	<p>最初の質問で年間予算として、図書館事業っていうのは十分なのかどうかというのはちょっと気になってですね。</p>
<p>事務局</p>	<p>年間予算という点につきましては、やはり全国の図書館で開</p>

(樋口課長)	<p>館当初は予算が十分あったものの尻つぼみになっているという ような事例もございます。その辺も十分念頭に置きまして、 私どもとしましては、5年間の図書館の予算というところで、 昨年議会にも承認いただいた債務負担行為で5年間の図書館 の予算を事前に承認いただいておりますので、金額は5年間は 減ることなく、指定管理者の図書館流通センターさんにお願 いしていくと計画をしています。</p>
川口会長	<p>伊藤委員、よろしいでしょうか。</p>
伊藤委員	<p>はい、ありがとうございます。</p>
川口会長	<p>他にございますか。</p>
富井委員	<p>ちょっと関連して、伊藤委員が言っていた雑誌スポンサー制 度についてなんですけど、こちら図書館でも受け入れることが できますというお答えだったんですけど、置かれる場所、書架は もう用意されているのがあって、その場所が結構重要だと思 うんですけど、雑誌スポンサー制度を図書館で既に何冊かやっ ているのかと、どこの書架でやられているのか教えてください。</p>
事務局 (小川館長)	<p>現時点では、まだ雑誌にスポンサーは付いていないです。 雑誌を移動するかどうかなんですけど、特に移動は検討して おらず、もしスポンサーが付いてもそのままの書架で行う予定 です。雑誌スポンサーについては、雑誌に透明のカバーが付 いているんですけど、その裏に広告を入れるような形になり ます。それと、その雑誌を取ったところの扉の部分にチラシを 貼るように検討しています。</p>
富井委員	<p>特に雑誌スポンサー用の書架を用意するんじゃなくて、今あ</p>

	<p>る雑誌っていう。場所は何に関連しての雑誌かによって振り分けられるということですか。</p>
<p>事務局 (小川館長)</p>	<p>この雑誌のスポンサーをやりたいですっていう希望方式になります。</p>
<p>富井委員</p>	<p>自分たちで選べないということ。</p>
<p>小川館長</p>	<p>この雑誌のスポンサーをやりたいですという形で、自分たちで選んでいただいて、そこに広告をつける形になります。</p>
<p>富井委員</p>	<p>既に図書館に入っている雑誌じゃなくて、新しく自分たちの入れたい雑誌を寄附できるっていうことですか。公民館と同じなのか違うのか。</p>
<p>小川館長</p>	<p>そちらはちょっと検討したいと思います。現状は雑誌の棚が全て埋まってしまってるので、新しく雑誌を入れる場合は別途、棚を設ける必要があるのと、もしそうなった場合、他にも雑誌を寄贈したいっていう声はいただいているんですけど、まだ受け付けていませんと何件かお断りしてしまっている例があるので、そちらは今後検討してホームページなど告知をして募集したいと思います。</p>
<p>富井委員</p>	<p>先ほど受け入れますというお答えだったんですけど、まだ検討しないとわからないってことですか。</p>
<p>事務局 (小川館長)</p>	<p>現在置いてある雑誌のスポンサーは随時受入れをしています。</p>
<p>富井委員</p>	<p>新しい雑誌は。</p>

事務局 (小川館長)	少し検討させていただきたいと思います。
川口会長	富井委員、よろしいですか。
富井委員	はい。
川口会長	他に質疑等ございますか。
杉田委員	資料4ですけど、7番の社会科見学の受け入れのところで、ここに学校名と日にちが記載されておりますけれども、これはいつ時点のデータですか。 記載のないところは、今後予定があるのか知りたいと思って伺っているんですけども。
事務局 (小川館長)	こちらは7月7日時点のデータになります。 現在、追加の社会科見学受け入れについては、今のところ予定がないです。
川口会長	杉田委員、よろしいですか。
杉田委員	それでは、それに関連しまして、その資料4の3ページのところ、支援関係のところ、1番の「団体貸出」、「学級文庫」についてですけど、先程からいくつか意見がありましたけれども、どこの学校でも朝読書をやっていますよね。これは学校のことなんです、朝読書をやっていて、前々から私もいろいろな会議で意見を言ってきたつもりですが、学級文庫、クラスに本が少ないんです。朝読書推進というのは、もう一般化してますよね。これは保坂委員に伺いたいところではあるんですけど

	<p>ども、他の学校がどうかあまりよく知らないので強くは言えませんが、私が知ってるところは、そんなに本がなくて、朝読書で時間も設けられているのに、子供たちが家から本を持って来るって聞いていたり、それから持ってこられなかった、または持ってこなかった児童に関しては、そのクラスに置いてある本を使って読書を楽しむっていうように聞いていますけど、その割にはそのクラスに置いてある本の数がとても少なかったり、首をひねるようなところがあるんですね。せっかく図書館ができて、こういう制度ができて、先ほどの館長さんからのお話だと、館の方からというよりは学校の方から申し出があってお受けしているんですか。</p>
<p>事務局 (小川館長)</p>	<p>はい。こちらから投げかけて。</p>
<p>杉田委員</p>	<p>投げかけたのは、全体ですよ。</p>
<p>事務局 (小川館長)</p>	<p>全体に投げかけて、ただその際にやっぱり学校側で先生が1人時間を取られてしまうというような、ちょっと難点がありまして。本を貸し出すことによって本を管理する先生が必要になってしまいますので、その先生を確保できるかどうかという学校の都合もありまして、こちらから一方的に押し付けることはやはり難しいっていうのがあります。</p> <p>学校側も、例えばこちらが一方的に渡したときに無くしてしまったりどうしようとか、破損してしまったりどうしようっていうこともあると思いますので、よかったら是非利用してみませんかという形で投げかけて、依頼のあった学校を現在回っているような形になります。</p>
<p>杉田委員</p>	<p>ありがとうございます。</p>

この場は図書館協議会ということで、図書館のことを話し合うことが大前提ですが、ここの席にいらっしゃる方々、委員の皆さんの中に校長会代表の方もいらっしゃれば、それから読書支援員の方もいらっしゃるわけですから、まさしくそういうところで何か問題点が見つまっているような気がするんですね。

今、館長さんがお話くださったように、図書館の方から投げかけても、学校側の方でいろいろ問題があるかもしれません。その辺のことは学校で格差があるのかもしれませんが、私としても市内に住んでおまして、孫がお世話になっていたりとか、それから、富井委員も、まさしく子育て世代の方々でね、子供たちが実際、学校に通っていらっしゃるわけですから、誰もが利用して本を楽しめる環境を作りたい、作ってあげたいという、我々大人の使命なので、そういうふう考えたときに、どこに問題があるんだらうって。読書支援員さんは、昨年富津市は置かれるようになりました。今日の会議の中でも、どなたかおっしゃったかもしれませんが、支援員さんと図書館の連携、そういう中で学校って本が足りてないのに何で借りないの、なんでそういう制度を利用しないのって、私は単純にそういうふうにも思うんです。私の方から見たら足りていないと思うんです。支援員さんの目から見たらどうなのでしょう。学校の図書って足りているんでしょうか。

平委員

読書支援員として昨年度から富津市の方で働いております。学校現場で今、読書支援として何をやっているかっていうと、ずっと学校の図書室は人が入っていなかったもので、特に小学校はいいですが中学校とかは図書室っていうのは、皆さんご存知のように鍵のかかる部屋ですから、本当に本が動いていないことが多かったんですね。今現在やっていることは、こちらの富津市の図書館と同じで、図書室の整備をしている状態で手いっぱいです。例えば、子供たちが借りやすいように、蔵書を

バーコード貸出ができるように、今年1年掛けて全ての学校を蔵書登録する作業をしながら、図書支援員としては毎日働いているんですけども、1週間に1校あたり1回しか回れない、複数の学校を掛け持ちながらやっているのです。学校によって今おっしゃったように状況が違うので、その学校で読み聞かせをしたり、学校の図書の整備をしたり、蔵書登録をしながら整備をしている状況です。

確かに小学校は、多分ほとんどの学校に学級文庫があります。それからホールのある学校は、ホールに全部本を開架して、そこで貸し出しができるようにはなっています。ただ、学級文庫に置いてある本が年齢にそぐったものかどうかというのは手が回ってない状態です。

何校か「学級文庫」を図書館の方からお借りしてやれていると思うんですが、学校の図書室の方も今かなり整備ができていない状況で、移動図書館の本が学校の図書室に入っていたりとか、そういう状態なので、今年1年掛けて蔵書整備をして、きちっとしていけば、市の図書館と連携しながらいろいろ本を入れて、学校って図書を買う費用ってというのは限られてるので、市の図書館と連携しながら広めていければいいなとは思っています。

ただ、現在はもう手一杯な状態で、なかなか図書館さんと連携ができていないというのは事実です。読書支援員の立場として言わせていただきました。

杉田委員

私、社会教育委員もさせていただいていますが、その中でも、またその他の場でもそのような話を実際に伺う機会がなかったなど。ですから、先ほど申し上げましたが、図書館協議会ではありますが、今までなかった図書館ができたことで、子供や我々の世代、幅広い世代が本を楽しむことができるっていう、その目標に向かっていろんな角度から、今日は貴重な意見

保坂委員

を伺って、これから保坂委員にそちらの立場で伺うことが出来
そうなので楽しみにしておりますが、是非そういうように皆さん
で色々な角度からお話を聞かせていただくこともありがたい
と思います。

今の学校の現状ということで、朝読書というのは多くの学校
でやっていると思います。実際、私の学校の話はこの場ですぐ
できるので。

朝読書をやっている時に、まず「さくら号」で借りた本を読
んでいる子、それから学級文庫が近くに置いてあるのでそれを
借りている子、学校の図書室の本を使っている子、中には自分
の好きな本を持ってくる子、ということで読書をやっておりま
す。実際、この学級文庫を借りてみて、やはり選ぶ方がプロな
ので、魅力的な本がうまく整っているなど、これが毎月入れ替
わるってというのはとても魅力的ですので、継続して借りていき
たいなと思います。始まったばかりですので、効果はまだ何と
も言えないですが、非常にいいものが揃っているなので、私も校
長会等に出席しておりますので、使ってみた感想を述べたり、
校長会の方で促すということは、この委員でもありますので積
極的にしていきたいと思います。

それから、社会科見学というか「図書館学習」と我々と呼ん
でいるんですけども、市の生涯学習バスとかスクールバスを
使って行かせてもらって、そこで読み聞かせをしてもらって雰
囲気を作って、借り方を教えてもらって。

実際に子供たちが自由時間で本を借りる時、家族で行く場合
と子供同士で行く場合で本の選び方が違うんです。ですので、
非常に良い体験ができていて、さらに天羽小学校の場合は距離
が遠いので、なかなか自分で返しに行けないというところは
「さくら号」で、この前子供たちは返していました。というこ
とで、非常に良い体験ができています。

ただ4月から開館したので、学校の年間計画って、前年度に立てるんですよ。前年度の冬とか1月から3月。ですので、私の学校は、いろいろと他の予定の合間できゅっと入れたわけですね。また校長会で感想述べながら、これから計画が入るような学校があれば入れていただきたいし、また来年度の計画の中に入れていくことなんかも提案していきたいと思います。以上です。

川口会長

ありがとうございます。

杉田委員の言われるようにいろいろ問題があるんですけども、こういう図書館事業を活性化させるためには、やはりいろんなところとの連携というのが必要だと思います。

連携するためには、今言ったように学校でもいろいろ問題があったり、図書の方にも問題があるという中で、一番には委員の皆様にもちょっと考えていただきたいのは、この協議会の中でどこまで協議するのかということですね。協議する内容って、どんどん広がっていくと思うんです。図書協議会とはということで文章を読ませてもらいますけど、「図書館協議会は、図書館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、図書館の行う図書館奉仕につき、館長に対して意見を述べる機関」という名目があるんです。だから、学校の問題、先生の考え方とかあって、そういうのを願いますってこともあるし、調整していかなくちゃいけないってところあると思います。ここで検討して、ここはこういうふうにした方がいいんじゃないか、ああした方がいいんじゃないかっていうのも出ると思いますけども、それをどこまで考えていくのかっていうのが私は一つの問題かなと思っています。キリがないと思うんですね。その辺も事務局もどこまで協議会で決めていくのかということを考える必要があるかなと思います。とは言え、この協議会で決めなくちゃいけない枠の外のことでも、いろいろ問題がありますけど

も、それについても協議会からそれを発信して、要はシャットアウトするんじゃないくて、協議会で決めたことなんだけれども、その外にも発信できるような、そういう検討もしてもいいのかなと思います。その辺の境界が非常に難しいと思いますので、その辺を委員の皆さんと話し合っ、事務局の意見を聞きたいと思います。事務局いかがですか。

事務局
(平野部長)

ありがとうございます。いただいた貴重なご意見は、この図書館協議会以外でも、課題の認識ということで情報共有していきたいと思います。

先ほど冒頭に私も申し上げて、読書支援員さんが実際にいらっしやったりして、実情、始まったばかりでございますが、学校図書もTRCのシステムを使っていて共有できるよう、まずは学校の図書の整備をしていこうというところで、最終的には予算とか色々なこともありますので、それが図書館との情報共有や各学校での連携で、図書の貸出がそれぞれにやれたりってというような、そういった着地点は目指しているわけですが、そういうところからすればもちろん図書館協議会でそういった意見があつて、市もベクトルとしてはそちらの方に向かっているということは間違いございませんので。ただ、時間的なものとか予算的なもので出来ていないところがございしますが、これからそういったご意見を尊重しながら、できるところから進めていきたいというふうなことは考えておりますので、よろしくお願ひいたします。以上です。

川口会長

杉田委員が話したように、いろいろここから発信していくことは必要ということでございます。

杉田委員

ありがとうございます。確かにここは図書館協議会ですので、私もそこに引っかかりながらではありますがつて思いま

川口会長	<p>す。</p> <p>必要性というのは、委員の皆さんご存知だと思うんですけど、やはりどこまで協議するのかというのは非常に難しいところだと思います。</p>
杉田委員	<p>そういう場がなかったのは確かなので、事務局の方でそれを受けていただいて、とにかく横の連携をするには実態把握をしないことにはこの先のことを語るのにどうだったかっていうことはスタートできないので。実際に読書支援員さんがまだ始まったばかりとおっしゃいますけど、1年経ったところで私の知っている学校では、玄関先に図書を並べてくれるコーナーがありますけれども、すごく素敵で、こちらも手に取りたくなるので。私だったら探せなかったなみたいな、子供たちってどういうふうに見ているんだろうな、楽しんでいるんだろうなっていうふうに、ワクワクさせてくれるような本が並んでいます。</p> <p>だから、そういうことも含めて情報発信の場を事務局の方で整理していただいて、今日の会長のおっしゃることもごもっともなので、限られた時間の中でどこまで図書館のことに踏み込んで話し合いができるかっていうこと、確かにあると思いますのでよろしくお願いします。</p>
事務局 (伊藤社会 教育主事)	<p>社会教育主事としてですが、図書館は基本的には人間生活ですとか生まれてから死ぬまでとか、それから砂粒から宇宙までとか、考えうる限りの対象は扱っている施設で、市民生活の向上ですとか、知の力をつけていくところとか、そういうところを担っている非常に重要な教育施設です。ですので、先ほどの館長からの事業計画にもありますとおり学校の中に出ていくというのも重要な課題です。子供たちの、それからその前の保育所とかそういうところにも出向いていくというのも重要な</p>

	<p>事業。それから実は企業だとか、そういうところでも図書館の施設の利用についてとかをこれからやっていかなきゃいけないんだと思っています。そう考えると、杉田委員がおっしゃっているような、間口をもっと広げなきゃいけないかも知れないという、そのような感じもしているので、図書館を活性化していく上でも、そういった今話されていることっていうことは特に踏み外してはいないなっていう印象はございます。どこまで広げていいかっていうことについてですけども、そういう意見っていうのは良いような気がします。</p>
川口会長	<p>今言われた個々に学校の問題とかそういうのがあって、それは当然連携をとらなくちゃいけないんだけど、こちらからとりあえず学校の方に発信して、学校で受け止めてもらうっていうのはそんな具体的な話になっちゃうんですけど、そんな形でってことを言われているわけですね。</p>
事務局 (伊藤社会 教育主事)	<p>直接、学校に発信するというのではなく、まず共有することが必要だということです。</p> <p>今年度、社会教育委員を中心に5年前に策定しました「子ども読書活動推進計画」が、5年目最終年になりまして、今年度中にまたリニューアルということで、今後、協議会の皆さんとも情報共有しながら、どのように学校教育とも連携しながら進めていくかということを計画の中に盛り込んでいかなければいけませんので、またご協力をお願いいたします。</p>
川口会長	<p>はい。委員さんの方から何か質問等ございますか。</p>
吉田委員	<p>現実的な具体的なことなんですけど、先ほど図書館で本を借りて、さくら号で返すっていうことをおっしゃっていたんですけど、借りてる子たちは借りた場所と返却場所が違うっていう</p>

	<p>認識はできているんですけど、本を借りない人にとったら図書館で借りたものは図書館に返さなければいけない、さくら号で借りたものはさくら号で返さなければいけないみたいな意識が実際に私の周りに結構いたので、それをもう少し、借りた場所と返す場所が違うこともOKなんだよっていうことをもう少し発信してもらえると本を手にとってもらう機会も増えるのかなと思いました。よろしくお願いします。</p>
事務局 (樋口課長)	<p>承知いたしました。おっしゃる通りですね、図書館で借りて近くの公民館とか移動図書館のステーションで返せますよって話はしているんですけど、まだまだ足りていない部分もあろうかと思えますので、引き続き広報に努めてまいります。よろしくお願いします。</p>
川口会長	<p>吉田委員よろしいですか</p>
吉田委員	<p>はい、よろしくお願いします。</p>
川口会長	<p>他に何かございますか。 ないようであれば事務局からなにかございますか。</p>
吉村係長	<p>それでは次回の会議ですけれども、今後の図書館の事業も踏まえまして12月ごろを予定しております。 また詳細な日にちは改めて早めにメールで通知等を出させていただきますので、ご承知おきくださいますようお願いいたします。以上です。</p>
川口会長	<p>それでは以上をもちまして全ての議事を終了といたします。 円滑な議事進行にご協力いただきましてありがとうございます。ありがとうございました。</p>

<p>事務局 (樋口課長)</p>	<p>また事務局につきましては、1回目と同じく今回いろいろ要望とか検討事項出たところでございますけど、またその辺まとめていただいております。お願いしたいと思っております。</p> <p>それでは進行を事務局にお返しいたします。</p> <p>川口会長ありがとうございました。</p> <p>また、委員の皆様におかれましては長時間にわたりご審議いただきましてありがとうございました。</p> <p>以上をもちまして、令和5年度第2回富津市図書館協議会を閉会といたします。</p> <p>おつかれさまでございました。</p>
-----------------------	--